

2015/9/11

グラウンドデザインの検討開始

都都計審に 調査特別委 2040年代の都市像探る

2040年代の東京の都市像とその実現に向け「都道筋を検討するため、**員会**」が都都市計画審議
「都市づくり調査特別委」会に設置され、初会合が
9日、都庁で開かれた。
委員は元副知事の青山俊

明治大学公共政策大学院
特任教授ら12人で、委員
長には岸井隆幸日本大学
理工学部教授が選任され
た。

40年代の東京の都市像
は、舛添知事が昨年の第
4回定例都議会の所信表
明で「都市づくりのグラ

ウンドデザイン」として策
定する考えを打ち出し
た。ハード面の都市づく
りは構想から実現までに
長い時間を要することが

ら、長期的な視点で計画
的に進めていくための指
針として策定する。少子
高齢化や経済の活力向上
の視点を交え、目指すべ
き都市像や実現に向けた

グラウンドデザイン」とも
整合性を図るため、同検
討の中で示された都市づ
くりに関する知見なども
踏まえて検討を進める。

取り組みを検討する。ま
た、ハード・ソフトを合
わせた東京の将来的な全
体像を検討する「東京の
審議会に答申する。

検討期間は16年9月ま
でを予定。特別委員会は
全7〜8回の開催を予定
しており、委員らによる
プレゼンテーションも行
う。16年4月ごろを目途
に中間取りまとめを行
い、同8月に答申案をま
とめ、同9月の都市計画
審議会に答申する。